

書く力を高め、豊かに表現する児童の育成
～学習指導法の工夫と書くことの日常化を通して～

I 研究の内容

1 主題設定について

今年度は、「書くこと」の研究 2 年目とする。指導内容を焦点化し、指導と評価の一体化を意識して取り組むことにより児童の書く力を高めたいと考える。そのために、昨年作成した各学年の指導計画を基本とし、各学年の発達段階に応じたきめ細かな授業を展開していく。また、書く活動を日常的に取り入れることによって、授業で培った書く力を様々な場面で応用して使い、自分の思いを自分の言葉で書き表すことができる児童を育成していきたい。

2 具体的な内容と方法

(1) 研究の具体的な内容

- ・ ブロック単位で、長を中心に研究を進める。(指導と評価の一体化について、書くことの日常化について)
- ・ 書く力に関する年間指導計画の見直しをする。
- ・ 新学習指導要領についての研修会をひらく。

(2) 研究の方法

- ・ 研究は、高学年ブロック(5, 6年生)、中学年ブロック(3, 4年生)、低学年ブロック(1, 2年生)の3ブロック制で行う。
- ・ 研究授業は、低・中・高学年から1名が全体に提供する。授業案検討も全体です。他の学年は、ブロック内で授業を提供する。授業案検討は、ブロック内です。
- ・ 平成23年度から実施の新学習指導要領について研修会をひらき、理解を深める。

3 基本的な考え方

(1) 『学習指導法の工夫』について

- ・ 指導内容を焦点化して、指導と評価を一体化する。
毎時間ごとの指導と評価を明確にして、児童一人ひとりがどこまで達成できているのかを教師が把握する。これらを指導にいかし、どこまでできているのかを児童に伝える。
- ・ 研究授業は、構成メモから文章を書き、書いた文章を相互評価したり、推敲をしたりする場面が望ましい。

(2) 『書くことの日常化』について

- ・ 書くことを日常の様々な場面に取り入れる。
国語の授業で培った書く力を応用して他教科の書くことや日記等にかす。
(学習感想、観察カード、鑑賞、調べ学習、日記、班日記等)
- ・ 自分の言葉で書き表す。
言語環境の整備(読書活動等で優れた表現にふれる)

(3) 『豊かに表現する』について

- ・各学年の「書くこと」年間指導計画にある目標にあわせる。
 - 1, 2 学年 経験したことや想像したことなどについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。
 - 3, 4 学年 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる。
 - 5, 6 学年 目的や意図に応じ、考えたことなどを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる。

II 成果と課題

1 成果

- ・各学年、子どもたちの実態に応じて、書くことの日常化をめざし、それぞれ成果を上げた。
- ・書く力を高めることは、これからの子ども達に必要なことなので、2年間継続してこのテーマに取り組んだことは有効である。また、具体的な内容をサブテーマとし、分かりやすかった。
- ・日常の取り組みを継続して行うことにより、主題に迫ることができた。
- ・理論研究から実践へと結びつけることができた。
- ・研究授業では、(構想)、記述、推敲と段階をおった授業検証ができてよかった。それぞれの授業で指導法の工夫がみられた。・何を書くか・何のために書くかをはっきりさせた2年・4年の授業。相互評価を効果的に取り入れた4年・5年の授業は大変参考になった。
- ・研究授業において、工夫されたワークシートや子どもの作品を見ることができ、学年の発達段階を知るのにも参考になった。
- ・研究授業だけでなく、日常から「書くこと」を意識して取り組んだ結果、子どもたちが書くことに抵抗がなくなってきたように思う。
- ・新学習指導要領についての研修会は、とても勉強になった。指導主事による説明等で、これからの指導、指導要領のポイントなど学習することができた。

2 課題

- ・書くことに関して児童の力を高めるには、時間的なゆとりが必要だと感じた。
- ・副主題に対する手立だてを十分に確認しておけばよかった。
- ・研究授業をするだけが研究ではないので、日々の実践をみんなで出しながら進んでいくとよかった。

III 成果物

研究授業 一人一実践

1年	国語	「どうぶつのあかちゃん」	岡村理恵教諭
2年	国語	「もう すぐ 夏休み」	堀内美紀教諭
3年	国語	「せつめい書をつくろう」	岩下城教諭
4年	国語	「四年三組から発信します」	新藤徹教諭
5年	国語	「物語をつくろう」	岩下秀人教諭
6年	国語	「今、わたしはぼくは」	岩間敦子教諭

(研究主任 堀内美紀)